

事業番号	15 04 01	事業改善シート(29年度実施事業分)	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S54 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	8-1-4 教育再生プロジェクト				
施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実				
	5 すべての子どもの学びを保障する支援				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○障がいの重度化、重複化が進むとともに、発達障がいのある児童生徒が増加しており、インクルーシブ教育システムの構築と、教職員等の専門性の向上や、連携支援体制の整備が課題となっている。	29年度 決算額	837,405 千円
		職員数	42.60 人
目指す姿	○重度の障がいのある児童生徒から、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な児童生徒まで、多様な教育的ニーズのある児童生徒1人1人に対して、小・中・高校、特別支援学校において適切な教育・支援が提供されている。 ○教職員の専門性が向上し、インクルーシブな教育が実践されている。 ○学校・保護者・市町村教育委員会・地域の関係者等が連携・協働して児童生徒の現在及び将来の自立を支援している。 (主な実施内容:地域の中核となるコーディネーターの養成、外部専門家派遣、自立活動担当教員の増員 など)		

事業 コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況						
						No	成果指標	27年度	28年度	29年度		
										目標値	成果	達成状況
予算額	前年度繰越											
	当初予算	555,273	709,580	857,782	1,154,750							
	補正予算											
	合計(A)	555,273	709,580	857,782	1,154,750							
Aの 財源	一般財源	381,684	483,577	588,710	798,243							
	県債											
	国庫支出金	173,204	225,577	268,652	356,135							
	その他	385	426	420	372							
ト	決算額(B)	468,698	698,216	837,405								
概算 人件 費	職員数(人)	42.60	42.60	42.60	42.60							
	概算人件費(C)	352,558	337,136	345,145	345,145							
	概算事業費(B(A)+C)	821,256	1,035,352	1,182,550	1,499,895							
成果指標 設定理由	①～④:障がいのある子が、自立と社会参加に向け、できる限り身近な地域で同世代の友と共に学ぶ中で持てる力を最大限伸ばすことができ、障がいのない子も含めたすべての子が、仲間と出会い関わる中で多様性を認め合い、「多様な他者となつがる力」、「多様な価値観の中で問題を解決していく力」を育む、インクルーシブ教育システム(共生社会)の構築を推進するため											
目標に対する 成果の状況	①養成研修の実施により数は伸びてきているものの目標値にはわずかに届かなかった。 ②それぞれの学校のニーズに合わせて専門家を活用し、研修会や講習会を開催した。 ③自立活動担当教員の増員により、特別支援学校のセンター的機能として地域の小中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級への巡回支援の対象校数が増えた。 ④LD等通級指導教室を11室増設し、通級利用者数は増加した。											

成果指標設定理由	①～④:障がいのある子が、自立と社会参加に向け、できる限り身近な地域で同世代の友と共に学ぶ中で持てる力を最大限伸ばすことができ、障がいのない子も含めたすべての子が、仲間と出会い関わる中で多様性を認め合い、「多様な他者となつがる力」、「多様な価値観の中で問題を解決していく力」を育む、インクルーシブ教育システム(共生社会)の構築を推進するため									
目標に対する成果の状況	①養成研修の実施により数は伸びてきているものの目標値にはわずかに届かなかった。 ②それぞれの学校のニーズに合わせて専門家を活用し、研修会や講習会を開催した。 ③自立活動担当教員の増員により、特別支援学校のセンター的機能として地域の小中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級への巡回支援の対象校数が増えた。 ④LD等通級指導教室を11室増設し、通級利用者数は増加した。									

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	□ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	発達障がい等があり特別な支援が必要な児童生徒の増加に伴い、地域における児童生徒に対する支援体制の更なる充実が求められている	特別支援教育コーディネーターの養成研修、自立活動担当教員の配置等の事業を引き続き推進し、教育現場での発達障がいに対する理解と支援力、教員の専門性を高めていく。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	29年度		30年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
					(単位:千円)		
1		特別支援学校障がい者チャレンジ雇用事業費	特別支援学校において、肢体不自由障がい者、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者を雇用	1.50	15,684	11,069	32,117
2		発達障がい児等総合支援事業費	地域の中核となるコーディネーターの養成、出前研修の実施、高等学校特別支援教育研究会の開催	5.70	619	373	501
3		特別支援学校センター的機能充実事業費	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級への巡回相談支援、外部専門家(OT,PT,ST)を特別支援学校に派遣	5.70	3,018	2,599	3,183
4		特別支援教育に関する機能強化モデル事業費	国委託事業の「高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究」を実施	0.60	4,061	2,801	0
5		特別支援教育充実事業費	自立活動担当教員の増員、自立介護支援員、LD等通級指導教室担当教員の増員、長野県特別支援教育連携協議会の開催	5.70	753,441	750,622	1,033,939
6		手話学習環境整備事業費	手話に係る研修会、小中高等学校教員向け指導方法の伝達講習会の開催	5.70	639	561	640
7	8-1-4	就学相談体制整備事業費	特別支援教育推進員の配置、長野県教育支援委員会の開催、就学に関するハンドブックの作成	5.70	11,276	10,411	12,289
8		特別支援教育地域化推進事業費	乳幼児「きこえの教室」運営	0.60	30	30	30
9		交流教育推進事業費	交流教育提携校との交流、提携校以外の相手先との交流等	5.70	1,285	1,240	1,166
10		医療的ケア体制整備事業費	学校看護師の配置、医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修	5.70	67,729	57,699	70,885
合計				42.60	857,782	837,405	1,154,750

事業改善シート附表

事業番号 15 04 01	事業名	特別支援教育推進事業費				部局	教育委員会		課・室	特別支援教育課			<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検					
		細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）		29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況		27年度	28年度	29年度			総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善	
当初(千円)	当初(千円)					要求(千円)			当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度	主な点検区分結果		
1	特別支援学校障がい者チャレンジ雇用事業費	障がい者の雇用	直接	特別支援学校において、肢体不自由障がい者、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者を雇用	・特別支援学校において、8名の障がい者雇用を実現し、その8名が一般就労に結びつくように基礎的なスキルを身につけながら、業務に従事した。	計画通り ○	4,389	6,131	15,684	15,684	0	11,069		7-1-5				150405
2	発達障がい児等総合支援事業費	地域の中核となるコーディネーター研修事業、「発達障がい支援力アップ」出前研修、「高等学校特別支援教育研究会」開催事業	直接	地域の中核となるコーディネーターの養成、出前研修の実施、高等学校特別支援教育研究会の開催	地域の中核となるコーディネーターの養成、出前研修の実施、高等学校特別支援教育研究会の開催	計画通り ○	513	513	619	619	0	373		7-1-5				150406
3	特別支援学校センター的機能充実事業費	自立活動巡回支援事業、特別支援学校外部専門家派遣事業	直接	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学校への巡回相談支援、外部専門家（OT,PT,ST）を特別支援学校に派遣	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学校への巡回相談支援、外部専門家（OT,PT,ST）を特別支援学校に派遣	計画通り ○	1,093	2,530	3,018	3,018	0	2,599		7-1-5				150407
4	特別支援教育に関する機能強化モデル事業費	高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究	直接	国委託事業の「高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究」を実施	国委託事業の「高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究」を実施	計画通り ○	20,532	4,212	4,061	4,061	0	2,801		7-1-5				150408
5	特別支援教育充実事業費	自立活動担当教員の増員、自立介護支援員、LD等通級指導教室担当教員の増員、長野県特別支援教育連携協議会の開催	直接	自立活動担当教員の増員（通算80人増）、自立介護支援員（20人）、LD等通級指導教室担当教員の増員（11人）、長野県特別支援教育連携協議会の開催（7回）	自立活動担当教員の増員（通算80人増）、自立介護支援員（20人）、LD等通級指導教室担当教員の増員（11人）、長野県特別支援教育連携協議会の開催（7回）	計画通り ○	465,475	614,052	773,841	753,441	0	750,622		7-1-5				150409
6	手話学習環境整備事業費	ろう学校教職員の手話の専門性の向上とろう学校保護者・ろう教員への情報保障等	直接	手話に係る研修会、小中高等学校教員向け指導方法の伝達講習会の開催	手話に係る研修会、小中高等学校教員向け指導方法の伝達講習会の開催	計画通り ○	0	637	639	639	0	561		7-1-5				150410
7	就学相談体制整備事業費	特別支援教育推進員の配置、長野県教育支援委員会の開催、就学に関するハンドブックの作成	直接	特別支援教育推進員（4人）、長野県教育支援委員会の開催、就学に関するハンドブックの作成	特別支援教育推進員（4人）、長野県教育支援委員会の開催（3回）、就学に関するハンドブックの作成	計画通り ○	10,538	10,782	15,094	11,276	0	10,411	8-1-4	7-1-5	12,289			150411
8	特別支援教育地域化推進事業費	乳幼児「きこえの教室」運営	直接	テレビ会議システム（オンライン接続費）	テレビ会議システムにより、長野ろう学校とサテライト教室（東信教育事務所「きこえの教室」）との間で、視覚を活用したコミュニケーション支援を実施	計画通り ○	30	30	30	30	0	30		7-1-5				150412
9	交流教育推進事業費	交流教育提携校との交流、提携校以外の相手先との交流等	直接	各特別支援学校と幼・保・小中高等学校で交流提携を結び、交流を実施。提携校以外の学校との交流	各特別支援学校と幼・保・小中高等学校で交流提携を結び、交流を実施。提携校以外の学校とも交流実施	計画通り ○	1,408	1,323	1,285	1,285	0	1,240		7-1-5				150413
10	医療的ケア体制整備事業費	学校看護師の配置、医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修	直接	学校看護師の配置（30人）、医療的ケア研修の実施、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修	学校看護師の配置（30人）、医療的ケア研修の実施、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修	計画通り ○	51,295	69,370	74,328	67,729	0	57,699		7-1-5				150416
合 計								555,273	709,580	888,599	857,782	0	837,405			12,289		